

【参考様式1】

令和5年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 緑丘小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特例認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

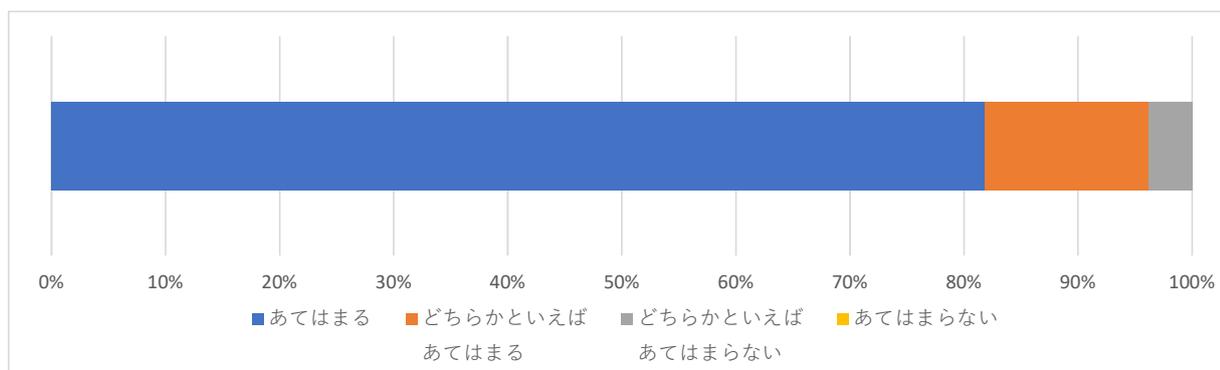
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

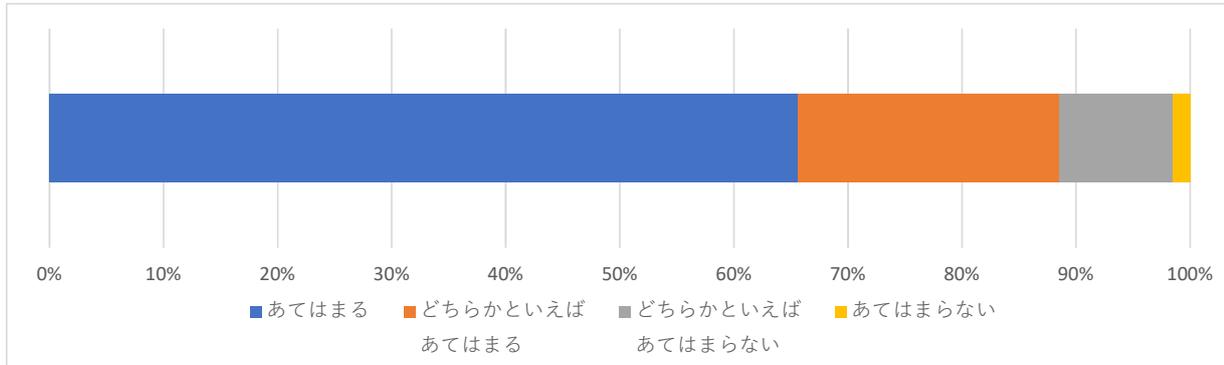
① 英語の勉強は好きだ。

| | あてはまる | どちらかといえば あてはまる | どちらかといえば あてはまらない | あてはまらない |
|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1年生 | 61 | 10 | 2 | 0 |
| 2年生 | 47 | 9 | 3 | 0 |
| 合計 | 108 | 19 | 5 | 0 |



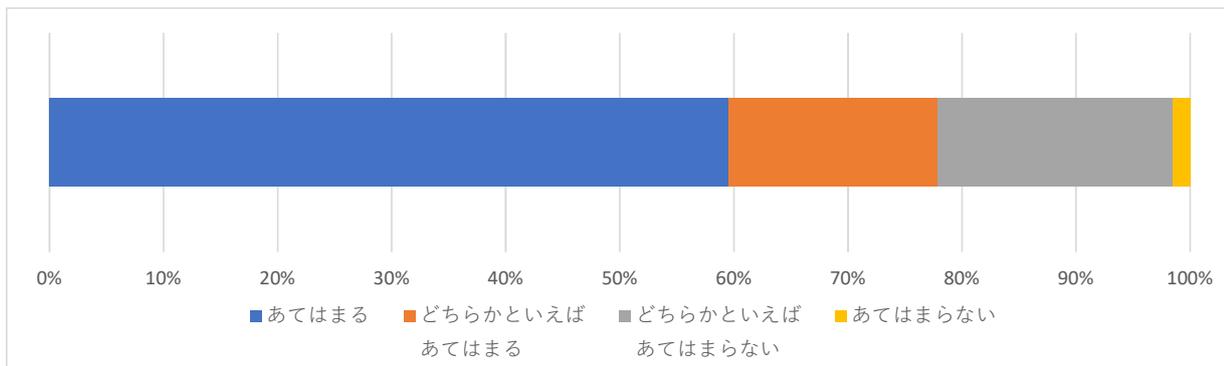
② 英語の授業はよくわかる。

| | あてはまる | どちらかといえば あてはまる | どちらかといえば あてはまらない | あてはまらない |
|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1年生 | 55 | 13 | 4 | 0 |
| 2年生 | 31 | 17 | 9 | 2 |
| 合計 | 86 | 30 | 13 | 2 |



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

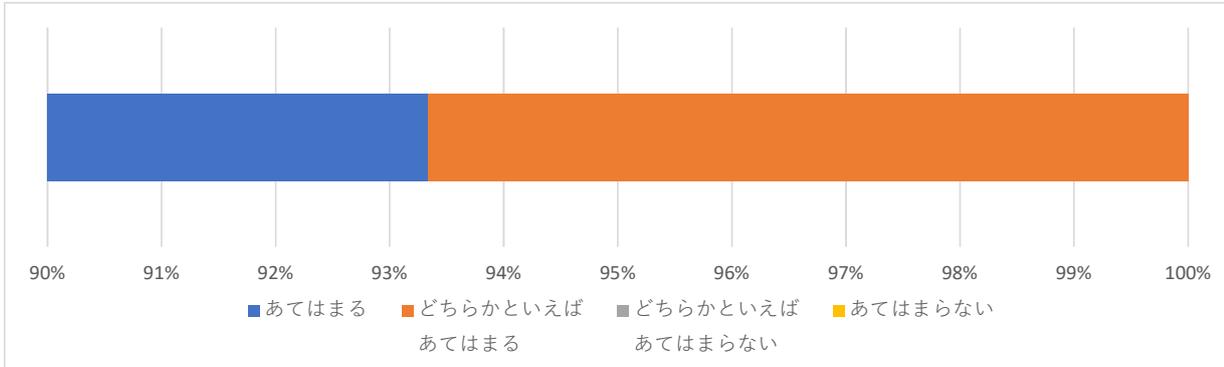
| | あてはまる | どちらかといえば あてはまる | どちらかといえば あてはまらない | あてはまらない |
|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1年生 | 43 | 13 | 16 | 0 |
| 2年生 | 35 | 11 | 11 | 2 |
| 合計 | 78 | 24 | 27 | 2 |



3. 保護者アンケートの結果

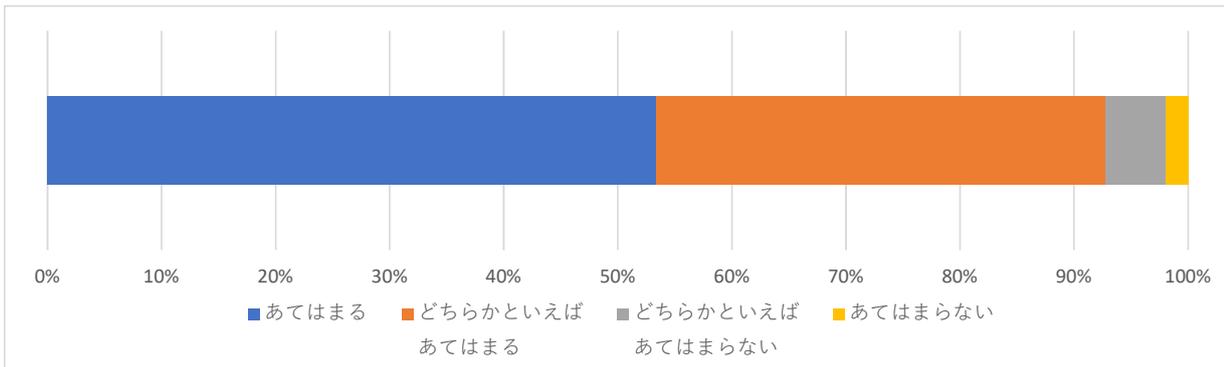
① 池田市では小学校1年生から英語の授業をしていることを知っている。

| | あてはまる | どちらかといえば あてはまる | どちらかといえば あてはまらない | あてはまらない |
|----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 合計 | 196 | 14 | 0 | 0 |



② 子どもは英語の授業を楽しんでいると思う。

| | あてはまる | どちらかといえば あてはまる | どちらかといえば あてはまらない | あてはまらない |
|----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 合計 | 111 | 82 | 11 | 4 |



4. 学校関係者からの意見

- ・低学年からALTとのコミュニケーションを通じ、子どもたちが実際に話している英語が外国の人にも伝わっているという経験は、自信につながっている。
- ・英語に対する苦手意識を軽減できるように、低学年より英語に触れていくことは大事。
- ・高学年になっても、楽しみながら英語の授業を受けている様子が伺える。

5. 今後に向けて

- ・今年度のGTEC（英語4技能検定）の結果も良好であった。引き続き、発達段階に応じた取り組みを進めていく。
- ・今年度、学んだ英語を活かし外国の人と話す機会を設け、子どもたちの生き生きとした姿が見られた。習得した英語を日常のコミュニケーションの中でもっと活用していく場面を増やしていけたらと考える。